

# 金属パイプ加工業における教育訓練カリキュラム

平成29年 8月21日作成

訓練科名(コース名)		金属パイプ加工実践科 (パイプ加工コース)	訓練修了後 の関連職種	金属パイプ加工業におけるプレス加工 職種	
訓練目		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、金属パイプ加工業における製品や業務の流れ及び労働安全衛生について理解するとともに、パイプ加工に必要な基本的知識と技能を習得する。			
仕上がり像		金属パイプ加工業について概要を理解し、パイプ加工に係る基本的な業務ができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">         金属パイプ加工業に関する製品や業務の流れの理解及びパイプ加工に係る基本的な知識の習得により、監督者の助言・指導のもと、基本的・定型的作業を的確に遂行できる。また、難度がやや高い作業においても監督者の助言・指導のもと、補助的に対応できる。       </div>			
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの 実施主体	備考
<b>実習 (OJT)</b>  有期実習型訓練の内容	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理	他の実習に 包含	510	自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。
	金型構造理解・金型整備作業	金型交換作業の見習い、折損等確認、清掃・点検			
	管端プレス加工作業	管端加工機械の操作、自動機への材料投入と監視、工程内検査、日常点検、金型交換作業の見習い			
	パイプ曲げ加工作業	パイプベンダーの操作、自動機への材料投入と監視、工程内検査、日常点検、金型交換作業の見習い			
	転造加工作業	転造加工機械の操作、抜取検査、日常点検、金型・設定値調整の見習い			
	表面処理作業	前処理作業の準備と見習い、表面研磨加工の準備と見習い、抜取検査、片付け			
	切削加工作業	切削加工機械の操作、工程内検査、日常点検、金型交換作業の見習い			
	スポット溶接加工作業	部品の組み立て、機械の操作、製品の検査、日常点検、金型交換作業の見習い			
OJT計 510.0時間					
<b>座学等 (Off-JT)</b>	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ	8	新規採用時 研修と同等	
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY活動)、QC、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任(PL)	4		
	金型の構造・整備の基本知識	金型に関する知識(種類、基本構造、機能、外観検査方法、潤滑方式)、整備・補修に必要な図面の解説	10	OJT前の基本知識の付与	
	パイプ加工の基本知識	パイプ加工に関する知識(関連法令、安全作業法、パイプ加工の種類、パイプ材料に関する知識(種類、性質、欠陥検査方法))	8		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	8		
学科計 38.0時間					
<b>実技</b>	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)、プレス加工特有の安全作業(安全囲い、安全装置)	10		
	金型取扱の基本実技	金型の種類・構造・機能、交換作業の見習い、外観検査(検査機器の種類、操作方法)、整備、保管	12	OJT前の基本知識の付与	
	パイプ加工機械の基本実技	パイプ加工機械の種類・構造・機能、仕様・能力、操作、点検・整備	30		
実技計 52.0時間					
座学等(Off-JT)計 90.0時間					
有期実習型訓練合計 600.0時間					
<b>主要な設備 機器、教材</b>		ジョブ・カード、パイプ加工機械(管端加工機・パイプベンダー・転造機等)、工作機械(旋盤・フライス盤・ボール盤・平面研磨機・面取り機等)、検査機器(ノギス、マイクロメーター、分度器、ハイトゲージ等)、溶接機、表面処理機械(洗浄機・研磨機)、各種工具・用具類(スパナ類、クランプ等)、ワンポイントレッスン(作業要領書)、その他			